

(様式第9)



旭医大第 1300号

平成19年10月4日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人旭川医科大学

学長 吉田 晃



旭川医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	21人
--------	-----

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数	
医 師	159人	131.8人	290.8人	看護業務補助	45人	診療エックス線技士	人	
歯科医師	4人	7.2人	11.2人	理学療法士	3人	臨床検査技師	35人	
薬 剤 師	18人	9人	27.0人	作業療法士	人			衛生検査技師
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	6人	査	そ の 他	人
助 産 師	19人	人	19.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人	
看 護 師	399人	34.2人	433.2人	臨床工学技士	4人	医療社会事業従事者	2人	
准看護師	人	人	人	栄 養 士	人	その他の技術員	3人	
歯科衛生士	人	1人	1.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	59人	
管理栄養士	4人	1人	5.0人	診療放射線技師	22人	そ の 他 の 職 員	38人	

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	516人	7人	523人
1日当たり平均外来患者数	1,272人	31人	1,303人
1日当たり平均調剤数		1,132剤	

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input checked="" type="radio"/> 無	3人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	2人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
眼底三次元画像解析	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	58人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	4人
・多発性硬化症	24人	・ウェゲナー肉芽腫症	8人
・重症筋無力症	12人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	30人
・全身性エリテマトーデス	172人	・多系統萎縮症	6人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	9人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	66人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	5人	・原発性胆汁性肝硬変	35人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	100人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	26人	・特発性大腿骨頭壊死症	30人
・結節性動脈周囲炎	19人	・混合性結合組織病	11人
・潰瘍性大腸炎	171人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	13人	・特発性間質性肺炎	6人
・ビュルガー病	51人	・網膜色素変性症	22人
・天疱瘡	11人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	35人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	134人	・神経線維腫症	7人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	54人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	5人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	28人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	50回	
剖検の状況	剖検症例数 35 例	剖検率 14.3 %

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)		補助元又は委託元
ヒト無精子症遺伝子の変異、蛋白質機能解析および精子形成過程のメカニズムの解析	石川 健男	病院長	2,700	補	科学研究費補助金
Vascular Stiffnessに及ぼすmechanical stressの役割	菊池 健次郎	第一内科	1,300	補	科学研究費補助金
ラバマイシンによる血管再構築抑制の適正化を図る酸化性DNA損傷修復の調節効果	長谷部 直幸	第一内科	2,000	補	科学研究費補助金
心筋梗塞急性期および慢性期の薬剤を用いた治療に関する大規模前臨床比較試験(J-WIND)	長谷部 直幸	第一内科	0	委	財) 循環器病研究振興財団
筋萎縮性側索硬化症における選択的運動神経細胞死の病態解明に関する研究	相澤 仁志	第一内科	1,700	補	科学研究費補助金
受容体欠損マウスを用いたプロスタノイドの高血圧症病態形成における役割解明	藤野 眞行	第一内科	1,400	補	科学研究費補助金
心血管疾患におけるプロスタノイドの役割-受容体欠損マウスを用いた検討	藤野 眞行	第一内科	500	補	財) 秋山記念生命科学振興財団
ループス腎炎におけるトロンビン作用の解析と新規治療法開発に関する研究	丸山 直紀	第二内科	1,100	補	科学研究費補助金
転写因子NF-κB制御による関節リウマチ滑膜炎の新規治療法確立に関する研究	平野 史倫	第二内科	1,100	補	科学研究費補助金
低酸素応答性転写因子HIF-1αを標的とした抗炎症療法の開発	岡本 健作	第二内科	1,100	補	科学研究費補助金
低酸素シグナル制御分子PASの発現制御法の開発とがん治療への応用	牧野 雄一	第二内科	5,300	補	科学研究費補助金
免疫細胞の低酸素応答システムを標的とした新たな抗炎症療法の開発	牧野 雄一	第二内科	1,700	補	科学研究費補助金
低酸素応答性を標的とした抗炎症療法開発	牧野 雄一	第二内科	2,000	補	財) 上原記念生命科学振興財団
炎症性腸疾患における自然免疫機構の関与の解明とその制御	高後 裕	第三内科	2,100	補	科学研究費補助金
腸管鉄過剰蓄積を制御する可溶性トランスフェリン受容体1、2ファミリー	高後 裕	第三内科	500	補	科学研究費補助金
熱ショック蛋白を用いた白血病治療における液性免疫応答を利用した新たな治療戦略	佐藤 一也	第三内科	800	補	科学研究費補助金
ヒト血管内皮前駆細胞の可塑性に起因するがん微小環境の異常とその制御	水上 裕輔	第三内科	6,000	補	科学研究費補助金
血管内皮前駆細胞を用いた細胞運送因子治療の開発-がん治療への応用-	水上 裕輔	第三内科	1,800	補	科学研究費補助金
ソノポレーション現象を応用した新たな肝臓治療の開発	鈴木 康秋	第三内科	1,900	補	科学研究費補助金
アルツハイマー病における神経細胞内アミロイドβ蓄積と細胞周期調節異常	布村 明彦	精神科神経科	900	補	科学研究費補助金
制御・生殖腺の異常によって発症する性分化異常症の新たな原因の探求	藤枝 憲二	小児科	18,200	補	科学研究費補助金
性分化異常症の網羅的な病因・病態の解明	藤枝 憲二	小児科	4,000	補	科学研究費補助金
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	藤枝 憲二	小児科	20,000	補	厚生労働科学研究費補助金
脳形成異常の病態解明-前脳特異的Cdk5欠損マウスをモデルとして-	高橋 信	小児科	1,320	補	科学研究費補助金
エイズ診療向上に関する調査研究	古谷野 伸	小児科	4,096	委	北海道(厚生労働省)
脳形成異常に関連したてんかんの病態解明-前脳特異的Cdk5欠損マウスをモデルとして-	高橋 信	小児科	1,200	補	財) 母子健康協会
人工材料感染に対するCRPの応用:新しい予防法・治療法の開発を目指して	笹嶋 唯博	第一外科	2,200	補	科学研究費補助金
動脈石灰化におけるmatrix metalloproteinaseの役割	笹嶋 唯博	第一外科	3,900	補	科学研究費補助金
平成18年度地域新生コンソーシアム研究開発事業「確由来ポリマー膜を用いた医用グリースの開発」	笹嶋 唯博	第一外科	2,678	委	北海道科学技術総合振興センター(北海道建設委員会)
遺伝子導入を駆使した自家静脈脂肪移植内臓肥満の制御	東 信良	第一外科	500	補	科学研究費補助金
「Stage II大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第III相臨床試験	河野 透	第二外科	315	委	財) 先端医療振興財団
「Stage II大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-risk群とアプタビリミジン感受性群の選別に関する研究」	河野 透	第二外科	168	委	財) 先端医療振興財団
肝臓の再生・線維化・発症に関する自己骨髄由来細胞についての基礎的研究	福垣 光裕	第二外科	1,300	補	科学研究費補助金
NO合成遺伝子導入によるクローン病腸管狭窄予防に関する研究	千里 直之	第二外科	700	補	科学研究費補助金
腹部背脊管狭窄症の病態と治療に関する神経機序の解明	熱田 裕司	整形外科	2,400	補	科学研究費補助金
副交感神経節移植による運動機能再建の基礎的研究	研谷 智	整形外科	500	補	科学研究費補助金
グリエー病SERCA2b変異遺伝子導入トランスジェニックマウスの解析	飯塚 一	皮膚科	3,000	補	科学研究費補助金
糖尿病動物を用いた網膜の機能変化と調節異常のメカニズムの解明	吉田 晃敏	眼科	2,200	補	科学研究費補助金
美幌町立国民健康保険病院における重症糖尿病患者と糖尿病網膜症の発症について	吉田 晃敏	眼科	1,000	委	美幌町立国民健康保険病院
糖尿病網膜症における網膜循環動態と動脈硬化の評価と治療法の検討	佐藤 栄一	眼科	2,800	補	科学研究費補助金
糖尿病網膜症に対する汎網膜光凝固術の眼循環動態に及ぼす影響の検討	高橋 淳士	眼科	2,500	補	科学研究費補助金
鼻性NK/γT細胞リンパ腫のEBウイルスを標的とした新たな診断法・治療法の開発	原田 保明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,000	補	科学研究費補助金
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法後の検討-多施設無作為化比較試験-	今田 正信	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	315	委	財) 先端医療振興財団
扁桃腺癌感染における病態の解明と高摘出術の有用性に関する基礎的エビデンス	坂東 伸幸	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,600	補	科学研究費補助金
インフルエンザ菌に対するペプチドワクチンの開発	安部 裕介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400	補	科学研究費補助金
不妊症患者の産後と生殖補助医療技術による妊産性の向上に関する研究	千石 一雄	産科婦人科	803	委	北海道(厚生労働省)
婦人科における発生誘導転写因子異常と癌細胞正常化の検討	山下 剛	産科婦人科	1,000	補	科学研究費補助金
新たなヒト無精子症の原因遺伝子の単離およびその機能解析	宮本 敏伸	産科婦人科	500	補	科学研究費補助金
医療放射線分野における法令整備等を含めた管理体制に関する研究	油野 民雄	放射線科	8,000	補	厚生労働科学研究費補助金
ラジオ波熱凝固療法における正常肺の変化:画像及び病理学的検討	長沢 研一	放射線科	500	補	科学研究費補助金
脳深部刺激を用いた新しいてんかん外科治療に関する基礎的研究	橋詰 清隆	脳神経外科	700	委	国立精神・神経センター
尿中蛋白不均一性の機序の解明と病態解明への展開応用	伊藤 喜久	臨床検査医学	1,300	補	科学研究費補助金
PPARγ ligandによる消化器癌細胞増殖抑制の分子メカニズム	奥村 利勝	総合診療部	2,200	補	科学研究費補助金
ストレス応答キナーゼp38MAPKを標的とした治療と抗ストレス回生への応用	丹野 誠志	総合診療部	2,000	補	科学研究費補助金
ジアシルグリセロールキナーゼの糖・脂質代謝調節における役割	高橋 伸彦	総合診療部	1,500	補	科学研究費補助金
インスリン様成長因子の遺伝的多様性から見た胎児発育とその後の成長予後	長屋 達	周産母子センター	1,000	補	科学研究費補助金

※ 17年度～18年度分

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 290(2):H577-83 (2006)	Ischemic preconditioning enhances Scavenging activity of reactive oxygen Species and diminishes transmural difference of infarct size.	長谷部直幸	内科学講座 循環・呼吸・神経 病態内科学分野
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 290(3):H1064-70 (2006)	Tachycardia-induced myocardial ischemia And diastolic dysfunction potentiate Secretion of ANP, not BNP, in hypertrophic Cardiomyopathy.	長谷部直幸	内科学講座 循環・呼吸・神経 病態内科学分野
Atherosclerosis. 187(2):336-42 (2006)	Hyperinsulinemia is an independent Predictor for complex atherosclerotic lesion of thoracic aorta in non-diabetic patients.	長谷部直幸	内科学講座 循環・呼吸・神経 病態内科学分野
Am J Nephrol. 26(5):455-61 (2006)	An oral adsorbent, AST-120, suppresses Oxidative stress in uremic rats.	中川直樹	内科学講座 循環・呼吸・神経 病態内科学分野
Biochem Biophys Res Commun. 342(1):164- (2006)	Caveolin regulates microtubule Polymerization in the vascular smooth Muscle cells.	川辺淳一	内科学講座 循環・呼吸・神経 病態内科学分野

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
糖尿病 (平19.3)	糖尿病罹病期間30年で集学的治療にて寛解した糖尿病性腎症の1例	安孫子亜津子	内科学講座 病態代謝内科学 分野

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Aliment Pharmacol Ther. (2006. 12)	Effect of eradication of Helicobacter pylori on genetic instabilities in gastric intestinal metaplasia.	渡 二郎	内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野
Alcohol Clin Exp Res. (2007. 1)	Hepcidin is down-regulated in alcohol loading.	大竹孝明	内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野
Br J Cancer. (2007. 2)	Gemcitabine chemoresistance and molecular markers associated with gemcitabine transport and metabolism in human pancreatic cancer cells.	水上裕輔	内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野
J Biol Chem. (2006. 5)	Hypoxic regulation of vascular endothelial growth factor through the induction of phosphatidylinositol 3-kinase/Rho-ROCK and c-Mys.	水上裕輔	内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野
Int J Hematol. (2006. 12)	Combined use of dendritic cells enhances specific antileukemia immunity by leukemia cell-derived heat shock protein 70 in a mouse model with minimal residual leukemia cells.	鳥本悦宏	内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脈管学 (平18. 3)	閉塞性動脈硬化症の重症虚血肢に対する治療戦略	平賀将衛	外科学講座 循環・呼吸・腫瘍病態外科学分野
静脈学 (平18. 5)	下大静脈浸潤腎細胞癌に対する静脈再建	赤坂伸之	外科学講座 循環・呼吸・腫瘍病態外科学分野
Cirulation (平18. 9)	Transfection of Human Hepatocyte Growth Factor Gene Ameliorates Secondary Lymphedema Via Promotion of Lymphangiogenesis	東信良	外科学講座 循環・呼吸・腫瘍病態外科学分野
臨床外科 (平18. 7)	男性嚢胞性乳癌の1例	北田正博	外科学講座 循環・呼吸・腫瘍病態外科学分野
北海道外科雑誌 (平18. 12)	外科治療のトピックス肺癌外科治療の現況	北田正博	外科学講座 循環・呼吸・腫瘍病態外科学分野

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J. Hepatobiliary Pancreat Surgery (平18.6)	A malignant nonfunctioning pancreatic endocrine tumor with a unique pattern of intraductal growth.	稲垣光裕	外科学講座 消化器病態外科 学分野

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Biomech. 39(10):1948-53 (平18)	Three-dimensional computer-aided design based design sensitivity analysis and shape optimization of the stem using adaptive p-method	谷野弘昌	整形外科科学講座
Spine 31(2):178-82 (平18)	A Prospective Study of De Novo Scoliosis in a Community Based Cohort	小林徹也	整形外科科学講座
AJR186:1761-70 (平18.6)	Relationship Between Bone Marrow Edema and Development of Symptoms in Patients With Osteonecrosis of the Femoral Head	伊藤浩	整形外科科学講座
Clinical Orthopaedics And Related Research 444:169-75 (平18)	Fixation with Poly-L-lactide Screws in Hip Osteotomies	伊藤浩	整形外科科学講座
The Journal of Arthroplasty 22(1):57-64 (平18)	Tight Fit Technique in Primary Hybrid Total Hip Arthroplasty for Patients with Hip Dysplasia	伊藤浩	整形外科科学講座

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Res (平18. 9)	HLA Class I Antigen Down-regulation in Primary Laryngeal Squamous Cell Carcinoma Lesions as a Poor Prognostic Marker	荻野武	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座
J Neuroscience Methods (平18. 6)	A sequential double labeling technique for studying changes in motoneuronal projections to muscle following nerve injury and reinnervation	片田彰博	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座
Int J Cancer (平18. 5)	Concomitant increase of LMP1 and CD25(IL-2-receptor α) expression induced by IL-10 in the EBV-positive NK lines SNK6 and KA13	高原幹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Nuclear Medicine 47(7):1093-1098 (平18. 7)	Cerebral activation during withholding urine with full bladder in healthy men using 99mTc-HMPAO SPECT	秀毛範至	放射線医学講座
Radiology 243(3):869-876 (平19. 3)	Thymic hyperplasia and thymus gland tumors: differentiation with chemical shift MR imaging	稲岡努	放射線医学講座

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床脳波 (平18.5)	側頭葉てんかんの術中皮質脳波	橋詰清隆	脳神経外科学講座
Child' s Nervous System (平18.8)	Focal cortical Dysplasia: Pathophysiological approach	程塚明	脳神経外科学講座
脳と神経 (平18.3)	側頭葉焦点切除標本にて海綿状血管腫と皮質形成異常の共存が認められた1例	竹林誠治	脳神経外科学講座
臨床神経生理学 (平18.6)	てんかん性活動：総論	田中達也	脳神経外科学講座
脳卒中の外科(増刊号) (平18.8)	脳血管攣縮に対する今後の対策について —これまでの2つの臨床研究に基づいて—	安栄良悟	脳神経外科学講座

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Roentgenology 187: 389-397 (平18. 8)	Visualization of normal pulmonary fissures on sagittal multiplanar reconstruction MDCT	高橋康二	放射線部
日本消化器病学会誌 (平18. 8)	単純性肝嚢胞の1例：Em18-WBによる鑑別診 断の有用性	紀野修一	臨床検査・輸血 部

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 松野 丈夫		
管理担当者氏名	総務課長 小山 幸弘	医療支援課長 黒田 義弘	薬剤部長 松原 和夫
	経営企画課長 今西 徳寛		

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		病院事務部医療支援課（中央診療記録室）及び薬剤部	コンピューターによる集中管理を行っている。 カルテ等病歴資料は、外来・入院別に1患者1ファイル方式とし、エックス線写真は分冊になっているが1患者単位での管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部総務課	/
	高度の医療の提供の実績	病院事務部経営企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務部総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務部総務課	
	閲覧実績	病院事務部経営企画課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部経営企画課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部経営企画課	
	安全管理の ための体制確保の 状況 規則第9条の23及び第11条各号に掲げる	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		総務部総務課	
当該病院内に患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		地域医療連携室	
医療に係る安全管理のための指針		医療安全管理部	
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全管理部	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理部	
医療機関内の事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部	

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 齊藤 彰
閲覧担当者氏名	経営企画課長 今西 徳寛
閲覧の求めに応じる場所	病院会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	66.0%	算定期間	平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日
算定根拠	A: 紹介患者の数		8,239人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		4,590人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,363人
	D: 初診の患者の数		16,884人

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(1)名 兼任(6)名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) インシデントレポート等に関する調査・分析 (2) 安全策の策定、実施及び周知に関すること (3) 医療の質の向上、その他安全対策に関すること等 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 安全管理の基本理念 (2) 安全管理組織体制の整備 (3) 部門の長の管理責任の明確化 (4) インシデントと医療事故の用語の定義 (5) インシデント報告体制 (6) 医療事故等発生時の対応 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 4 5 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療事故防止対策の検討及び推進 (2) 医療事故防止の啓発活動(講演会等の企画立案を含む) (3) インシデント報告の調査及び分析を行い、その改善策を講じ、改善事項・周知事項の周知徹底を図る。 (4) 各部署における医療安全管理状況の点検及びマニュアルの見直し (5) 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例の職員への周知 (6) インシデントが発生した場合、医療事故か否かを判定し、医療事故と判定した場合は速やかに事故原因を調査究明し、再発防止策を策定する。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 5 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 別紙「平成 18 年度 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況」のとおり 	

⑧医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)

・その他の改善のための方策の主な内容

- (1) インシデント事例をリスクマネジャー連絡会議に提起し、分析結果を院内に周知している。
- (2) 他大学の医療事故事例を元に、病棟化学療法のオーダーにおけるマニュアルを作成し、レジメン表の作成内容の統一を図った。
- (3) 剖検に関する医療関連死・CPA-OA 症例の剖検に関する指針を作成し、マニュアルに上製。
- (4) 平成18年8月の落雷に伴う停電で造影検査に支障を来した事例を元に放射線部造影装置のサーバーにUPS電源を設置し、加えて院内全体のUPS電源を見直し追加設置した。
- (5) 外来EVの手摺りに小児が腕を挟み、自力で抜くことが出来なくなった事例を元に、保護版を設置した。
- (6) 平成19年7月19日から、注射オーダー時要注意薬剤(ハイリスク薬)を決定し、院内にリストを配布し、注射オーダー画面上でハイリスク薬が表示され、複数医師で確認する体制を構築した。
- (7) 患者誤認、薬剤過量投与防止のため、輸液ポンプ・シリンジポンプでハイリスク薬を実施する際の患者確認行為をME機器セミナーやRMニュース、リスクマネジャー全体会議で周知し、徹底を図っている。
- (8) 平成19年8月から抗癌化学療法のプロトコルとレジメン登録が情報システムで登録可能になり、医療文書として活用出来る体制になった。
- (9) 2003年度に作成した輸液ポンプ・シリンジポンプのマニュアルに危険操作(サイフォニング現象、フリーフローの用語説明)・プレフィールドシリンジに係る作成時の注意点を追加した改訂版を作成した。

平成18年度 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

研修区分	開催日時	研修名	目的・内容	時間	対象者
初任者研修 (看護部門)	18. 4. 5(水)	医療安全に関する基本的な考え方を学ぶ	講義 「医療事故防止の基本的な考え方」 「医療事故防止のための体制整備」 「医療事故防止のための具体的な活動」 「安全文化醸成のための啓発活動」 「組織の複雑性を理解する」	60分	新規採用者
卒後臨床研修 オリエンテーション	18. 4. 5(水)	インシデントレポートの報告ルート、内容の理解	講義 「リスクマネジメントの基本」 「安全管理体制について」 「何を報告すべきか起票の作成」 「事例から学ぶことの意義について」	30分	新規採用者
ビデオ研修	18. 6. 8 (木)	ビデオ研修 「ルールを守って安全確保」	①薬剤の誤投与 ②フリーフロー ③栄養チューブ	30分 (2回上映)	全職員・学生
	18. 6. 15 (木)	ビデオ研修 「これさえあれば大丈夫！！医療過誤対応マニュアル」 第1巻 そのとき、あなたは？ なくならない医療事故	明日は我が身の医療過誤の問題点を考察し、 日常診療に役立てる。	30分 (2回上映)	全職員・学生
	18. 6. 16 (金)	ビデオ研修 「これさえあれば大丈夫！！医療過誤対応マニュアル」 第2巻 事例にみる過失Ⅰ	診断・治療・麻酔・看護における過誤事例の紹介。	30分 (2回上映)	全職員・学生
	18. 6. 19 (月)	ビデオ研修 「これさえあれば大丈夫！！医療過誤対応マニュアル」 第3巻 事例にみる過失Ⅱ	注射・手術・投薬・点滴における過誤事例の紹介。	30分 (2回上映)	全職員・学生
	18. 9. 28 (木)	ビデオ研修 「これさえあれば大丈夫！！医療過誤対応マニュアル」 第4巻 訴訟にみる注意義務		30分 (2回上映)	全職員・学生
	18. 10. 4 (水)	ビデオ研修 「これさえあれば大丈夫！！医療過誤対応マニュアル」 第5巻 長期化する裁判		30分 (2回上映)	全職員・学生
	18. 10. 17 (火)	ビデオ研修 「これさえあれば大丈夫！！医療過誤対応マニュアル」 第6巻 名誉と責務		30分 (2回上映)	全職員・学生
事例検討会	18. 6. 29 (木)	第1回 「事例から学ぶ」	事例検討を通して医療事故防止を考え、チーム医療 の重要性を学ぶ。	90分	全職員・学生
	19. 2. 20 (火)	第2回 「事例から学ぶ」	RCA分析	90分	全職員・学生
特別講演会	18. 7. 12 (水)	特別講演会 「医療事故被害者のご家族の方から学ぶ」 (1)医療過誤・事件の経過報告と提言 (2)医療安全と職業倫理	「医療安全の動向を学ぶ。」 ①リスク感覚を高める。事故防止対策を考える。 ②患者側の理解を深める。 ③インフォームド・コンセントのあり方を考える。	90分	全職員・学生
	18. 7. 25 (火)	特別講演会 「異状死と医療過誤」	「医療の透明性を図り、公的機関としての社会的責任 を果たす。」 ①リスク感覚を高める。 ②社会から見た医療に求められていることを知る。 ③社会的責任を果たし地域医療に貢献する。 ④医療過誤と異状死について学ぶ。	90分	全職員・学生
ポスター活動	18.10月	医療における安全	「医療において患者の安全を守る。」 医療事故防止を啓発するポスターの作成 (手術部NS, 薬剤部作成のポスターを採用)	90分	全職員・学生
各部署における 医療安全活動報告会	18.12. 6(水) ～ 12. 7(木)	各部門における安全への取り組み報告会 (ポスターセッション & 報告)	「7月から11月までの取り組みを報告する。」 他のセクションでの患者の安全への取り組みを知り、 安全意識を高める。 チーム医療と専門職としての、質向上からシステムの 事故防止に取り組む。	90分	全職員・学生